

安全報告書(2011年)

ご挨拶

今シーズン(2010~2011年)も秋田市太平山スキー場「オーパス」をご利用いただき、誠にありがとうございました。スキー場「オーパス」を代表いたしまして、厚く御礼申し上げます。

今シーズンは、積雪不足から予定していた12月下旬ではなく、1月1日からリフト営業を開始いたしました。また、3月11日の東日本大震災では施設的には大きな損傷はなかったものの、エネルギー事情等を考慮し3月14日にクローズしております。皆様には大変ご不便をおかけいたしました。

当スキー場では、「安全第一」をモットーとして、施設の点検、補修等整備に万全を期すよう心掛けており、様々な研修や訓練を実施しております。

これからも安全な施設提供を心掛け、多くのお客様が安心・安全に過ごせ、より賑わいのあるスキー場となるよう職員一同取り組んでまいりますのでよろしくお願い申し上げます。



太平山観光開発株式会社
代表取締役社長 木内 鑛 生

『安全方針について』

平成18年10月1日の鉄道事業法の改正を受け、「安全管理規程」等を整備・運用し、『利用者の安全・安心』を常に心掛け、日々の施設運営に取り組んでまいります。

『輸送の安全を確保するための基本方針』

1. 一致団結して輸送の安全確保に努めます。
2. 輸送の安全に関する法令および関連する規定を良く理解すると共にこれを遵守し、厳選忠実に職務を遂行します。
3. 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
4. 職務の実施に当たり推測に頼らず確認の励行に努め疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
5. 事故、災害等が発生した時は人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。

6. 常に問題意識を持ち必要な変革に果敢に挑戦します。

前述の基本方針を実行するため安全輸送の管理体制や索道施設の保守および運行の管理の方法を作成し、安全管理規程に明記しております。

これらはすべて利用者の安全を確保するものであると同時に私達働く側も安全な作業を行うための大切な規程なのです。

『安全に対する取組み』

(1) 安全教育

輸送の安全性向上を図るためには、知識・技能の向上及び従業員の教育の充実を図ることが重要と考え、各研修会への参加及びシーズン営業開始前に索道施設の基本的な知識に加え、安全に対する知識、責任の重さ、的確な判断力といったものを徹底的に指導しています。

- ・索道メーカー（日本ケーブル） NC テクニカルセミナー参加
- ・東北索道協会 秋田地区部会技術研修会参加
- ・東北索道協会 索道技術管理員等講習会参加
- ・東北索道協会 秋田地区部会スキー場安全研修会参加

(2) 緊急時対応訓練

※ スキー場オープン前の12月11日リフト係員とパトロール隊に安全研修会および救助訓練を実施、安全管理規程の説明後安全意識の向上と索道係員服務規定、索道整備細則の再確認を行いました。従事経験等の違いから理解の差があるので現場での研修も含めて今後進めていきたいと思っています。（1月 3日救助訓練実施）

※ 始業前毎朝ミーティングを行い、気象状況やリフトの状態・人員配置の確認及び安全に関する情報交換を行い、各担当リフトの作業点検及び救助体制の確認を行いました。

(3) 強風対策

各リフト最終支柱に風速計を設置し、風速の把握をしています。風速の表示が15M/S以上18M/S未満で警戒運転、18m/s以上の風速が5秒間持続すると運転を停止します。

(4) AEDの設置

2005年7月から法改正により非医療従事者によるAED（自動体外式助細動器）の使用が認められ、パトロール詰所に設置し秋田消防本部より講師を招いて講習会を実施して緊急時の対応をとっております。



H22/5/25 NC テクニカルセミナーにて



H22/12/11 消火訓練状況



H22/12/11 AED（自動体外式助細動器）講習状況



H23/1/3 営業終了後 第二ペアリフトにて救助訓練状況

今シーズンオーパススキー場に於いて索道に係る事故はありませんでした。これも利用者の皆様のご協力のお陰と感謝いたしております。

『安全に関する組織体制』

安全運行に取り組むため安全管理意識を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

(別紙 1 ご参照下さい)

整備の実施について

オーパススキー場ではシーズン中に保守管理計画を作成し、春から秋にかけて整備点検を実施しております。今シーズンに於いては次に掲げる主な整備を行いました。

【社外修繕】

① 第一クワットリフト

- ・ 握索機 3年整備 27/77 台
- ・ 主電動機オーバーホール
- ・ 制動機油圧ユニットオーバーホール
- ・ 保安装置 逆転検出装置変更
- ・ 支えい索切詰め (1M)

② 第二ペアリフト

- ・ 非常用制動機オーバーホール
- ・ 風速計受送信装置整備

③ 第三ペアリフト

- ・ 13～18号支柱塗装整備
- ・ 風速計受送信装置整備

【社内修繕】

全リフト

各支柱受索輪点検整備給油脂

- ・ 支えい索点検測定給油脂
- ・ 折り返し設備、保安設備、予備原動設備等点検整備
- ・ 各搬器点検給油脂

第一クワットリフト

- ・ 握索機1年点検整備 50/77 台
- ・ 場内設備押送タイヤ交換 16 本
- ・ 場内設備押送Vベルト交換 119 本
- ・ 山麓到着側場内設備六角ベルト交換 2 本
- ・ 脱索検出ブレークフォーク交換 4 本
- ・ 2・4・6・8・10・12・14 各支柱放送スピーカー交換

第二ペアリフト

- ・ 握索装置 タンクケース・皿バネ分解整備 141 台
- ・ 握索装置 タング交換 18 本
- ・ 減速機オイル交換
- ・ 油圧緊張作動油及びフィルター交換
- ・ 通信用電池交換 2 個
- ・ 2・4・6・8・10・12・14・16・18 各支柱放送スピーカー交換

第三ペアリフト

- ・ 握索装置 タンクケース・皿バネ分解整備 173 台
- ・ 握索装置 タング交換 21 本
- ・ 3号支柱空線側ゴムライナー2本 ベアリング、ベアリングカラー 各4個交換
- ・ 山麓監視室外壁修繕
- ・ 山頂降場ステージ板交換
- ・ 2・4・6・8・10・12・14・16・18 各支柱放送スピーカー交換
- ・ 搬器両側手摺 A' ssy 交換 40/173 基

※ 整備予算については、年々厳しい状況ではありますが、秋田市と連携してお客様の「安全第一」をモットーに優先順位を定め、計画的に実施してまいります。

最後に繰り返し申しますが、事故なくシーズンを終了できましたのも皆様のご協力のお陰と思っております。

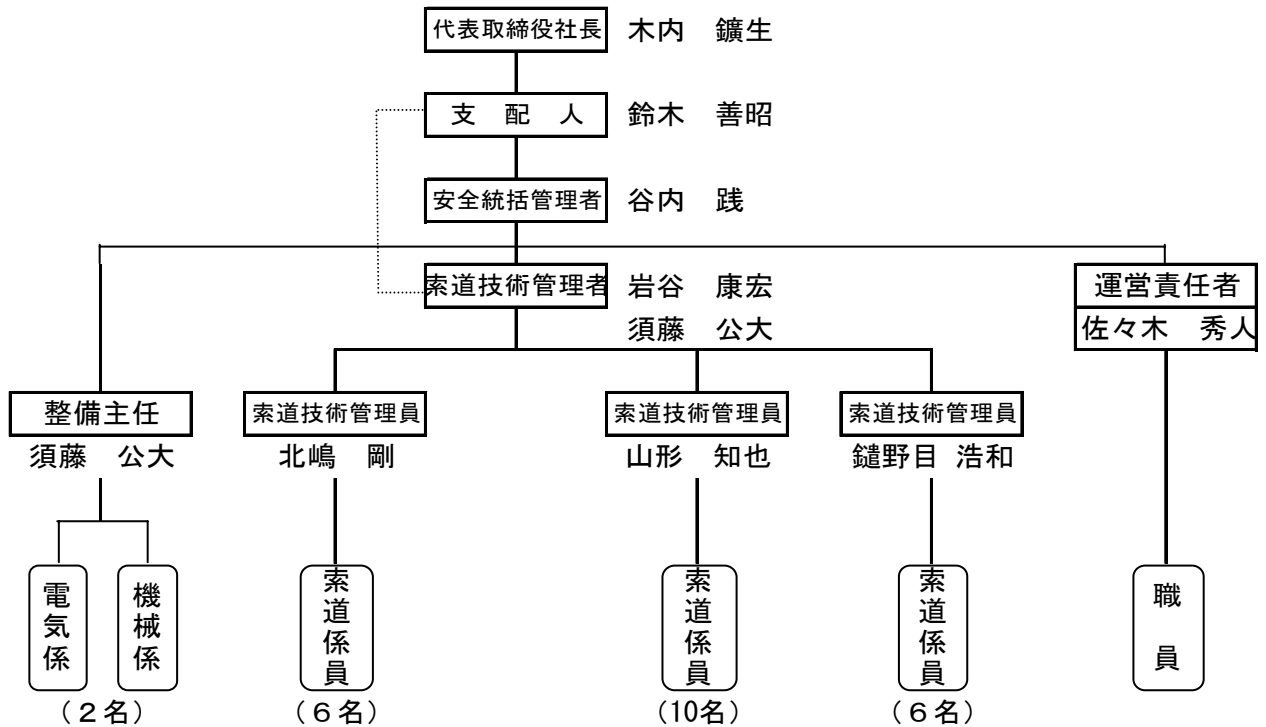
来シーズンも安全で楽しいスキー場にするため、職員一丸となって取り組んでまいりますので、更なるご愛顧とご協力を宜しくお願い致します。



秋田市太平山スキー場オーパス
太平山観光開発(株) 索道技術管理者

秋田市太平山スキー場安全管理組織および責務

1 安全管理組織図



2 責務について

- ① 代表取締役社長：輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
- ② 安全統括管理者：索道事業の輸送安全の確保に関する業務を統括する。緊急、重要案件について提案し、会議において意思決定を行う。
- ③ 支配人：スキー場事業の管理業務全般を統括する。
- ④ 運営責任者：スキー場事業の運営に関する業務を統括する。
- ⑤ 索道技術管理者：安全統括管理者の指揮のもと、索道の運行管理、索道施設の保守管理その他の技術上の事項に関する業務を統括する。
- ⑥ 整備主任：索道に関わる施設・設備の補修、保守管理等を行う。
- ⑦ 索道技術管理員：索道技術管理者のもと、索道の運行管理、索道施設の保守管理その他の技術上の事項に関する業務を管理する。
- ⑧ 索道係員：係員は運転、監視、乗客、改札係を示し、索道係員服務規程に基づき、業務を行う。